

別表1

	シングルスライスCT	マルチスライスCT(4列以上)
管電圧	120kv (120~140)	120kv (120~135)
スキャン(回転)時間	1秒	0.5秒 (0.35~1.0)
管電流	20~30mA	20~30mA
mAs(管電流×時間)	20~30mAs	10~15mAs
検出器コリメーション	10mm	1~2mm
画像スライス厚	10mm	1~5mm
ピッチ(mm/回転)/ビーム幅	2	0.7~1.5
画像再構成間隔	10mm	2~5mm
CTDIvol (Dose in mGy)	2~3mGy	2~3mGy

※1 マルチスライスCTの撮影条件は、以下のとおりとする。

- ①シングルスライスCTより被曝線量が上回らないこと。
- ②結節径の測定が正確に行えること。
- ③早期肺がんの検出に支障のない画像が得られること。

※2 参考とするガイドライン等

- (1)CT検診精度管理ガイドライン(第一版)
- (2)肺癌検診用MDCT(multidetector-row CT)撮影マニュアル
- (3)低線量CTによる肺がん検診の肺結節の判定基準と経過観察ガイドライン 第2版追加改訂
- (4)低線量CTによる肺がん検診の肺結節の判定基準と経過観察の考え方 第3版
- (5)日本における低線量CTによる肺がん検診の考え方
- (6)低線量肺がんCT検診の知識と実務(改訂2版):オーム社

別表2

コード	部位
1	右上葉
2	右中葉
3	右下葉
4	左上区
5	左舌区
6	左下葉
7	右全肺野
8	左全肺野
9	両側全肺野
10	縦隔
11	甲状腺
12	気管
13	右気管支
14	左気管支
15	その他

コード	所見
101	スリガラス影
102	多発性スリガラス影
103	浸潤影
104	小結節影(6mm未満)
105	結節影(6mm-30mm未満)
106	多発性結節影
107	腫瘤影(30mm以上)
108	線状影
109	網状影
110	胸膜肥厚
111	気管支拡張
112	ブラ・ブレブ(肺のう胞)
113	気腫性変化
114	空洞性病変
115	無気肺
116	胸水
117	縦隔腫瘤影(甲状腺を含む)
118	胸膜腫瘤
119	その他の異常影

コード	診断
201	肉芽腫または肺内リンパ節疑い
202	肺がん疑い
203	転移性肺癌疑い
204	肺気腫疑い
205	気管支拡張症疑い
206	間質性肺炎疑い
207	肺抗酸菌症疑い
208	陳旧性炎症疑い
209	肺炎疑い
210	肺腫瘤疑い
211	縦隔腫瘍疑い
212	胸膜腫瘍疑い
213	胸膜炎(膿胸を含む)疑い
214	びまん性肺疾患疑い
215	多発リンパ節腫大
216	大動脈瘤疑い
217	甲状腺腫瘍疑い
218	甲状腺びまん性腫大
219	判定困難
220	その他

判定区分		低線量CT所見区分
読影時	決定時	
a	A	読影に不適な画像
b	B	異常なし
c1	C1	異常所見を認めるが、精査を要さない
c2	C2	1年後のCT検査で経過観察を要する
d1	D1	活動性結核と考える
d2	D2	肺炎など診療必要
d3	D3	循環器疾患の画像所見
d4	D4	縦隔腫瘍など診療必要
e1	E1	肺癌など悪性否定できず
e2	E2	肺癌を強く疑う